



森の幼稚園へようこそ
港区立白金台幼稚園



2月園だより

令和2年1月29日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.mina-to-ky.ed.jp/>

獅子舞



子どもたちの獅子舞



凧揚げ



子ども文化の伝承

園長 新井 智子

今年は暖冬で、子どもたちが楽しみにしている積雪もありません。しかし、北風の中に立つとやはり凍えるような寒さを感じます。子どもたちはその風を凧あげの遊びに活かし、毎日元気いっぱい戸外で遊んでいます。

白金台幼稚園は1月25日、46回目の開園記念日を迎えました。これも地域や保護者の皆様に暖かく見守られ、ご支援いただいているお蔭だと感謝しています。これからも子どもたちの笑顔が溢れる幼稚園として、教職員一同さらに努力を重ね、歴史を紡いでまいります。

さて、1月は、凧あげ以外にもこまを回したり、羽根つきをしたりして遊びました。いわゆる「お正月遊び」です。しかし、昨今では言葉自体使われなくなっています。昔は、子どもたちは庭先で、あるいは路地や広場で、羽根つきやこま回しをしたり、凧あげをしたりして遊びました。子どもたちの遊びに大人も加わって、正月休みのひと時を過ごしたのではないのでしょうか。お正月遊びは、かるたやすごろく、福笑いなどの室内遊びもあります。

その「お正月遊び」の文化が、幼稚園で脈々と受け継がれています。それぞれの学年で楽しむだけではなく、年長児が年下の友達に教え伝える姿も見られました。お正月遊びは、子どもの世界で「おもしろいものだけが残る」伝承遊びの文化です。特徴は、一人でも友達とも遊べる、挑戦する面白さがある、遊び方や扱いが容易である、自然物の温もりが感じられる、遊び方の工夫ができるなど、挙げるときりがありません。また、子どもが工夫ができる素朴な玩具であることも魅力です。遊びを通して「数を数える」「札を読む」など文字や数量、図形に自然に触れて学ぶ機会にもなります。AIや情報ツールの多様化など社会の変化に伴って、子どもたちの遊びも変わっていきます。その中にあっても、子ども文化である「お正月遊び」を子ども間で伝承できる場としての幼稚園の役割が重要であると感じています。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 空気の冷たさや陽だまりの暖かさなどを感じながら戸外で思い切り体を動かして遊ぶ。
- 自分の思いやイメージを言葉や動きで表現する楽しさや満足感を味わう。
- 身の回りのことや生活に必要なことを自分で行い、自分でできる喜びを味わう。

4歳児

- 友達の気持ちを聞いたり受け止めたりしながら、一緒に遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- 学級のみんなで取り組むことに楽しんで参加し、自分なりに表現したり、力を発揮したりする。
- 冬の自然に興味をもって遊びに取り入れたり、戸外で体を動かして遊んだりする。

5歳児

- 遊びや活動に目的をもって取り組み、友達と折り合いながら実現していく喜びを味わう。
- 生活の流れや活動に見通しをもち、やるべきことを自分なりに考え、動こうとする。
- 小学校との交流やお別れ遠足、活動の引き継ぎなどを通して、自分たちの成長を感じたり、就学への期待を高めたりする。

